



▲熊日駅伝7区で力走する本町の福山幸喜選手

伝統を誇る新春恒例の第30回記念熊日三大郎駅伝大会は、

陸上競技部大活躍!!

三太郎駅伝で水俣Aチームに初めて勝つ

熊日駅伝・南九州駅伝へも連続出場

去る1月13日午前10時水俣市役所をスタート、津奈木・佐敷の両太郎峠を越えて田浦町改善センターをゴールとする39キロコースに31チームが参加して行われた。本町チームは各選手の力走

により総合2位に入賞し、五区の福田必君が区間賞を獲得した。又、永年にわたり出場した森下紀裕、津々木一美、坂口茂巳各氏に熊日から記念品が贈られた。2月3日には南九

州駅伝大会も行われ、新立啓介監督外福田豊、福田必、福山幸喜、浜辺孝行、新立芳郎、新立拓哉君の6名が出場、9位の好成績を取った。尚2月10日の熊日駅伝大会は17位だった。

「遊び」を教え、そのためには徹底して時間と金を費やすべきだと強調された。

日本人は、病気になるねば健康のありがたさがわからない。自らすすんで健康づくりを実践してほしいと結ばれ、三日間の講習会を終了した。



▲ユーモアあふれる講義の藤田誠司先生(熊商大)

加入してよかった680円のスポーツ傷害保険(手続は早目に)

町民の皆さんはすでにご存じの事と思いますが、スポーツ傷害保険の有効期限が3月31日で切れます。4月1日から新規となります。54年度も津奈木町では7名の方が負傷され、六八〇円の掛け金で保険金が支払われています。

負傷された方の話では、「ほんとうに加入して良かった」と喜んでおられます。55年度も保険料は六

八〇円です。万一に備えて是非、加入されますよう、お勧めします。

なお保険期間は、昭和55年4月1日午前0時より昭和56年3月31日午後12時までです。加入受付期間は昭和55年7月31日まで、保険手続き等の詳細については教育委員会までお問い合わせ下さい。

4月1日より活動される方は3月中旬に手続きされますように。書類は委員会にあります。

染竹と浜崎でファミリースポーツ

楽しさの中に さわやかな汗



▲はじめはみんなで…は浜崎部落が、染竹同様実施して、フリーテニス、ビーチボールバレー、フリーテニス、ビーチボールバレーなど熱戦をくりひろげ、さわやかな汗を流している。

教育委員会では2月15、18日の3日間ファミリースポーツ講習会を開催し、15日は実技指導、18日はスライドによる海外スポーツ事情報告を行い、20日に熊商大の藤田誠司先生を改善センターに招き、「生活とスポーツ」と題する講演をお願いした。先生は、西ドイツの例をと

って、今の子供は「遊び」を知らない。テレビを見て大きくなっている。遊びの中でこそ体力が付き、社会性が育ち、人間にとって大切な創造性が生れる。従って大人は子供に

活動日とし、現在楽しく続けている。「会員は、親子、壮青年男女と幅ひろくいます。みなさんもうかがえますか」と同好会では会員を募っている。

バレーボール実技講習会開かる

去る三月三日から十四日まで本町中学校でバレーボール実技講習会が開催された。受講者二十六名は終始熱心に参加され、バレー以外に新しい体操も修得し、受講者の中から両講師に対して、今年は男子のバレーボール大会もやりましますとの声

去る2月19日染竹部落のファミリースポーツが津奈木小体育館で実施されました。町内でもスポーツ活動の盛んな地区だけに、新調したばかりのそりいユニホーム姿で、親子混じり46名が参加し、溝下先生(スポーツ担

当社教)の指導のもと、フリスビー、ランニング、ゲームなど軽い運動から始めて、ビーチボールバレー、フリーテニス、ビーチボールバレーを編成して試合に興じ、大好評のうちに終わりました。

昭和54年度最後のスポーツ教室(バドミントン)が去る2月8日終了した。小学4年以上の一般男女を対象に津小体育館で堀端日体協指導員によりいい指導が行われた。期間中は雪や雨が降り、

つらい日もあって「体育館に行くまでが大変だった」とは受講生の話、教室終了後は同好会として毎週一回曜日を

講師は、中村信一先生(水高教諭)、林田和幸氏(町体育指導委員)

スポーツで心も体も すっきり すっきり……田口幹子さん(津小四年)

司会 祭壇は？
N 祭壇にもびっくりしました。球磨の多良木町では社会福祉協議会で何もかもやってくれるそうです。
I 私は親戚には花輪の代わりにお金をくれたと言いました。祭壇は見栄でしたろうが、こんな位はせんばといつてやりました。
A 千丁町では農協で一切やってくれます。
Q 湯浦も農協がしています。
B 葬儀屋のは霊柩車と祭壇が組になっています。
J その通りで、祭壇はお寺から借り、業者から霊柩車を頼みました。マイク、ロバス(霊柩車兼用)でした。
B 津奈木町で年間六三名、多い時は七〇名の葬式があります。祭壇もいろいろあって

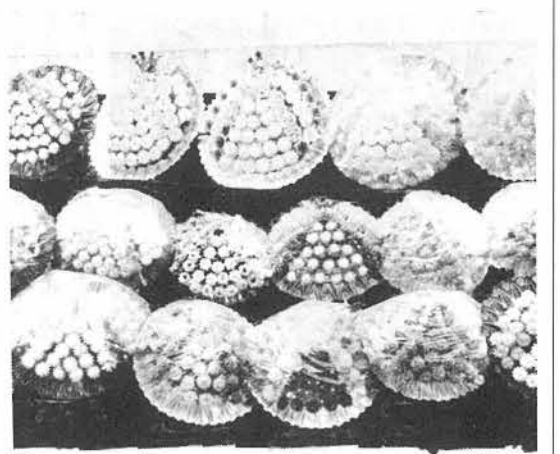


▲赤崎会館における婦人会の生活改善

でお願いしてまわりました。
N 私共のところは、灯籠代は班長がまとめて持って行くことにし、もちろんお返しはしないというので、二、三年前から決めて実行しています。
S 決めたも長続きしないことが今までも、しばしばあったので、何等かの機関を作った、年に何回か会合し、反省し話し合っていく、またその機関が実践母体となって推進していく、こういうものをつくる必要があるのではないのでしょうか。

J 芦北郡水俣市社会教育主事会でも、昭和五年度の研究課題になっているとか聞いています。
I 青少年問題町民会議の中心に常置し、活動して行ったら。
L 村祭りも郡内統一したらよいですが。
司会 結構なことですね。これは今後の問題として気長くいきがされないようやり抜く必要がありますね。
I いま話に出ましたような会を常置するよう要望しておきます。
B 実践力に富む青年団等が前向きで頑張ってほしい。
司会 予定の時間も過ぎましたので、これで閉会したいと思います。いろいろと、良いご意見をお聞かせ下さいまし

この座談会記録は、出席された方達のご意見を要約したもので、いふなれば問題提起であって、結論ではありません。今後みんなで大いに頑張りたいので、だんだん結晶させ、町全体の意志として実践へと進めていっていただければいいのではないのでしょうか。これをたたき台として、どんどんご意見、ご希望等を公民館にお寄せ下さるようお願いいたします。



(写真は記事と直接関係ありません)

せんか。
B 花輪は一切やらない……この一ことでも励行したら。司会 花輪はやらな。祭壇はお寺から借りるとしたら、営業妨害になりはしませんか。外に何か。
R 私の部落では、一週間目にお茶のみがありますが、よそはどうなっていますか？
A 私達のところは一週間目です。
司会 部落によってまちまちのようです。お世話になつたお礼の意味のお茶呑みです。
R 私共の部落もその申し合せはよく守られています。
司会 「初盆」について一つご意見を。
L 以前はご馳走が出ていたもので、お茶とまんじゅうだけに下さいと、婦人会



▲田浦町の生活改善

津奈木の芸術



濱田庄平さんの絵について

岡松 壮

私がいたっているバラの 持っていることを少なからず 油絵が、浜田さん一番の力作 ばかりと光栄を感じている。 でご自身お気に入りという 浜田さんは津奈木の高専科 に入塾して、担任の浪崎義松 ことを聞いて、私がその絵を

文芸投稿欄

詩 もう一人の私 浜本みつえ

花が咲けばきれいだと言っ 花が散ればわびしく思っ 刻の流れの向うに何があるの だろうと振り向いてみる

人をあざむき己をあざむき 悔だらけの歴史があるばかりだ 鏡に写してみようわたしの顔 そこにはもう一人の私がい

眉をひき紅をつけ 年甲斐もない変身かも知れないが もどることもない過去をたぐりながら もう一人の私は

どうにもならない心の乱れを 年輪の重圧に耐え乍らも どうする事も出来ない

短歌

小島 正弘

数えて四十星ルビーなど 縁なく生きてわがルビー婚 数減れば玉足しあいてパチンコに

ほととぎす

ある所に、貧しい農家が あった。年老いた父母と息 子二人で、細々と暮らして いたが、貧しい暮らしに疲 れはてた老夫婦は、去年の 冬に父親が亡くなってしま った。力を落した母も年と 貧しさには勝てず、やがて 春が近づくと云う頃のある 日、二人の息子を枕へによ んで、「お前たち二人は仲良 暮らしておくれ、あの世

津奈木民話 堀 二雄

出る病気がかかって、目が見 えなくなってしまう。 弟の喜三郎は十三才。とて も氣立てのやさしい子で、父 母亡きあとも、盲の兄の手足 させて、

喜三郎は、自分が喰べてい 盲の兄は、急に独りぼっち なる山芋がこんなうまいのだ になって、父母が恋しくな から喜三郎が喰べているのは ざざかし二倍も三倍もうまい のだろうと思つて、喜三郎に 「お前は盲の兄にまづいもの を喰わせて、自分だけうまい ものを喰って、罰が当たるぞ」と 叱りつけたりする。喜三郎は、 こんな兄を見ていて悲しき 自分が情なかつた。ある日ふ と喜三郎がいなくなった。何 処へ行ったのか誰も知らない。

才時記



のどけしや湊の雪の生さかな 河内「廣野」 松根東洋城 「春夏秋冬」

胸のうち・とりあえず・各二句 四月二十日まで 津奈木町公民館まで

肥後狂句 堀 双岳選

一人並びぬ二人だけの記念日 却初より愛の起き伏し見下して 玉振り時計ゆるき刻うつ 名も揚げず財も成得ず偕に老ゆ ただ二人あるを倅せとして

につこり、泣き度い心おしくし うれしかろ、ダルマの目玉入れさした

につこり、笑つて見する主の前 うれしかろ、成人式の晴れ姿

うれしかろ、家出までして添うた件 につこり、彼女が窓からまねきおる

につこり、笑つた顔をハイばかり うれしかろ、卒業就職出来たげな

うれしかろ、グランド廻る優勝旗

次第 胸のうち・とりあえず・各二句 四月二十日まで 津奈木町公民館まで

第一日曜日は「家庭の日」

田口久美さん作文で入選

「家庭の日」の作文に入選 熊本市では毎月第一日曜日 を「家庭の日」として健康で 明るい家庭づくりを提唱し、 その普及啓蒙の一つとして、 本年も県下の小中学生を対象 に「家庭の日」の作文募集を 行つたところ七八二点の応募 があつたのだが、その中か ら入賞作品八四点を「家庭の 日作文入選作品集」に収録、 この程熊本市で刊行されたが、 その中に本町津奈木中学校二 年田口久美さんの作文が当選 した。

ある日曜日の 我が家

津奈木中2年 田口久美

「こらー何時かと思つと。」 「ねえーちゃんごはん。いつ もの声がドアの外から聞こえ てる。まだ眠りからさめな 柱、棚、畳……他、形のある

老人ホームを尋ねて

町連合婦人会

去る一月三十一日の小雪降 る寒い朝、平国、赤崎、津奈 木校区婦人会役員は、一台の バスに同乗して、芦北老人ホ ームを訪問しました。 その際に皆様より頂きまし た、石けんタオル、そして 役員代表の素朴な歌や踊りに

が施設の様な本格的な看護が 出来るのか、不安を持って 帰つて来ました。

三人の老人と生活を共にす る、農家の嫁である私は、現 在は三人揃つて健康で毎日 過ごしていますが、そのうち

一人でも老床に臥した場合、 何の知識もない私は、ただ迷 れしく思いました。

来そうにありません。

Smokin Clean

たばこは灰皿のあるところぞ……



ちよつとした心づかいも喉のうち

んとも言えないエネルギーが 体の中から、出て来る、出て 来る、そう思うと十一時まで は早い。清掃学校終了だ。こ れで終りと思うのが、大まか がい。それから母の声「久美、 昼飯用意ね。」冷し中華でか や? 「うんはよね。」と庭から 母の声。母は庭で洗濯物を干 す。目が痛いほどの白い山だ。 妹と父は宿題をやっている。 そして私は台所。上手じやな いけど、切り板の音を確かめ るように野菜を切っていく。 「トントン。」お父さん、こ げんやが。 「うんにやこげん やが。」うんにやこげんやが。 「うんにやこげんやが。」何とも、へんて こな会話が耳に入つてきて台 所にいる私をたのしませてく れる。「ピンポンカンカン」と 話題に食欲旺盛、あつと いう間に過ぎてゆく日曜日。 友達とも遊べなかつた。どこ かに、連れて行つてももらえ